



2027年3月期 1Q 決算説明会

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しています。
従って、実際の業績は、様々な要因により業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

2026年7月31日
日本精工株式会社

1. 2027年3月期 1Q実績
2. 2027年3月期 予想
3. 中長期的な企業価値向上への取り組み

(補足資料)

2027年3月期 1Q実績

**FY26
1Q実績**

- ✓ 対前年で増収増益。
- ✓ 為替の円安影響(+153億円)と2025年9月1日のステアリング事業連結化影響(+443億円)が収益を押し上げ。
- ✓ 工作機械、半導体製造装置向け需要の増加が増益に貢献。

		YoY	YoY うち、ステアリング事業
売上高	2,556億円	+ 599億円	(+ 443億円)
営業利益	150億円	+102億円	(+ 13億円)
一過性除く※	157億円	+98億円	

**FY26
通期予想**

- ✓ FY26 1Q実績と受注動向、足元の為替水準等を鑑み、2026年5月公表のFY26業績予想を上方修正。
- ✓ なお、NTN株式会社との経営統合に関する費用（50億円）を業績予想に織り込み。

	通期予想	対5月予想	YoY	YoY うち、ステアリング事業
売上高	10,400億円	+400億円	+ 1,284億円	(+ 784億円)
営業利益	500億円	+ 80億円	+ 112億円	(- 27億円)
一過性除く※	645億円	+ 113億円	+ 193億円	

株主還元

- ✓ 安定的な利益還元（DOE2.5%を下限の目安）を継続。
- FY26計画 年間配当 34円/株

※営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用を除いた利益を表示しています。

- ✓ 通期業績予想（2026年5月公表）営業利益420億円に対し、1Q実績は150億円と順調な進捗。
- ✓ 産業機械事業の増収と体質改善、為替の円安影響により対前年で収益性が改善。

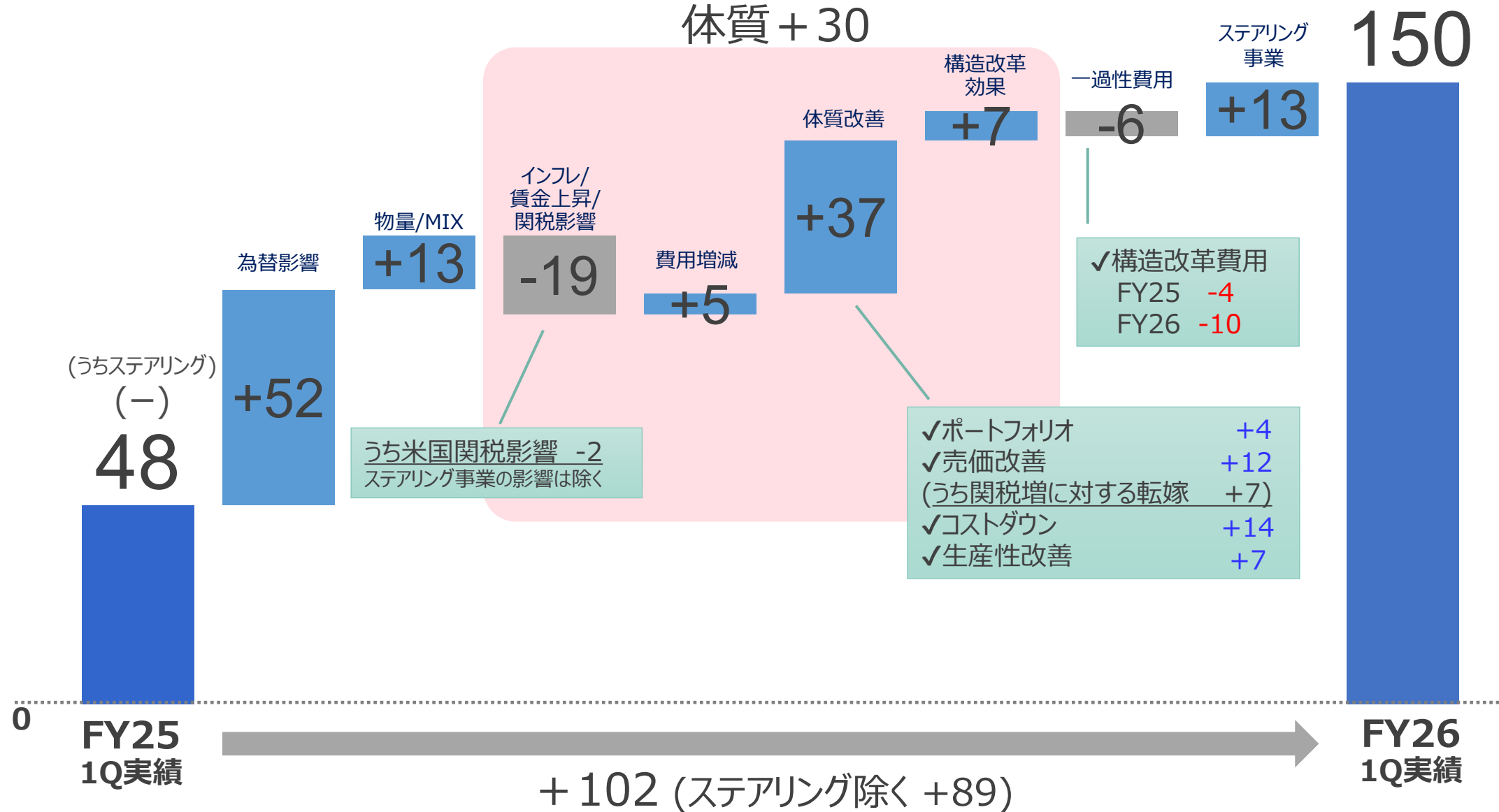
(億円)	1Q実績		YoY		FY26 通期予想	
	FY25	FY26	増減額 (為替影響)	増減率	5月公表	進捗率
売上高	1,958	2,556	+599 (+153)	+30.6%	10,000	<u>26%</u>
営業利益	48	150	+102 (+52)	+212.3%	420	<u>36%</u>
(率)	(2.4%)	(5.9%)			(4.2%)	
一過性除く※	59	157	+98 (+42)	+167.1%	532	<u>29%</u>
(率)	(3.0%)	(6.1%)			(5.3%)	
税引前四半期利益	49	147	+98	+199.4%	400	<u>37%</u>
四半期利益	11	97	+86	+795.6%	240	<u>40%</u>
(親会社所有者帰属)						
換算レート 1USD	144.6	159.5	+14.9	+10.3%	150.0	
// 1EUR	163.8	185.4	+21.6	+13.2%	180.0	
// 1CNY	20.0	23.4	+3.4	+17.2%	21.0	

※ 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益（FY25）を除いた利益を表示しています。

営業利益 増減内訳 FY25 1Q実績 ⇒ FY26 1Q実績

✓ 産業機械事業の増収と体質改善に加え、為替の円安影響により対前年増益。

(うちステアリング事業)
(13)
(億円)

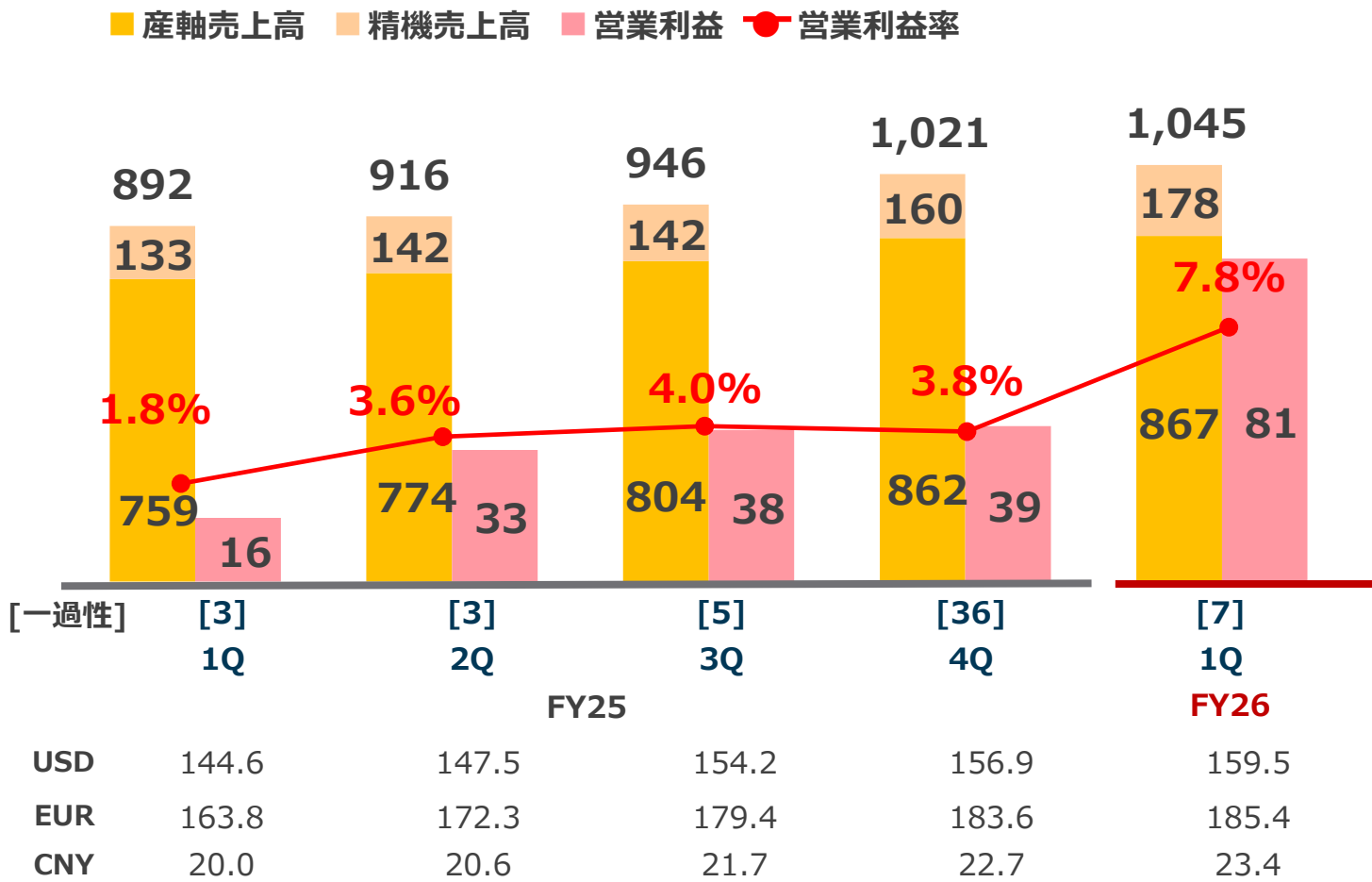


FY26 1Q実績 為替影響を除いて+7.6%増収。

- ・ 産機軸受：日本、中国で工作機械向けを中心に増収。
- ・ 精機製品：日本、中国で半導体製造装置、工作機械向けで増収。

1Qの営業利益率は7.8% [軸受 7% 精機製品11%]、一過性除く利益は8.4%。

(億円)	1Q実績		YoY	
	FY25	FY26	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	892	1,045	+154 (+86)	+17.2% (+7.6%)
産業機械軸受	759	867	+109	+14.3%
精機製品	133	178	+45	+34.0%
営業利益 (率)	16 (1.8%)	81 (7.8%)	+65	+408.7%
一過性除く (率)	19 (2.2%)	88 (8.4%)	+68	+352.1%
換算レート1USD	144.6	159.5	+14.9	+10.3%
〃 1EUR	163.8	185.4	+21.6	+13.2%
〃 1CNY	20.0	23.4	+3.4	+17.2%

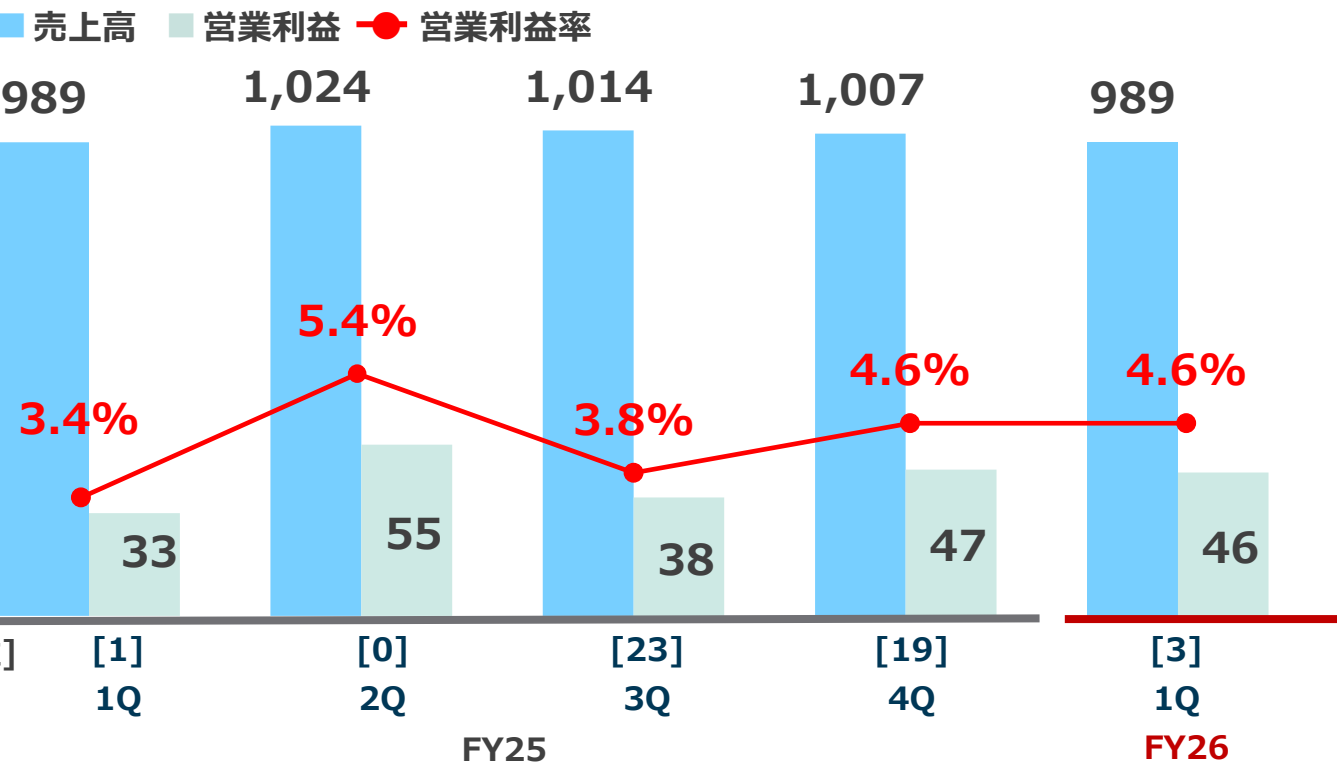


FY26 1Q実績 売上高は為替影響を除いて-6.4%減収。

- ・ 軸受は欧州、中国で減収。ただし、電動ブレーキ用ボールねじなど重点領域製品の拡販は順調に推移。1Qは対前年減収に対し営業利益は増加。一過性除いた利益率は5%。

※ FY25 8月までのステアリング事業の持分法による投資損益は自動車事業からステアリング事業へ組み替えて表示しています。

	1Q実績		YoY	
	FY25	FY26	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	989	989	-0 (+64)	-0.0% (-6.4%)
営業利益	33	46	+13	+37.7%
(率)	(3.4%)	(4.6%)		
一過性除く	34	49	+15	+44.1%
(率)	(3.4%)	(5.0%)		
換算レート1USD	144.6	159.5	+14.9	+10.3%
" 1EUR	163.8	185.4	+21.6	+13.2%
" 1CNY	20.0	23.4	+3.4	+17.2%



グローバル自動車生産台数 (S&P)			
百万台	FY25	FY26	増減率
	23	23	±0%

USD	144.6	147.5	154.2	156.9	159.5
EUR	163.8	172.3	179.4	183.6	185.4
CNY	20.0	20.6	21.7	22.7	23.4

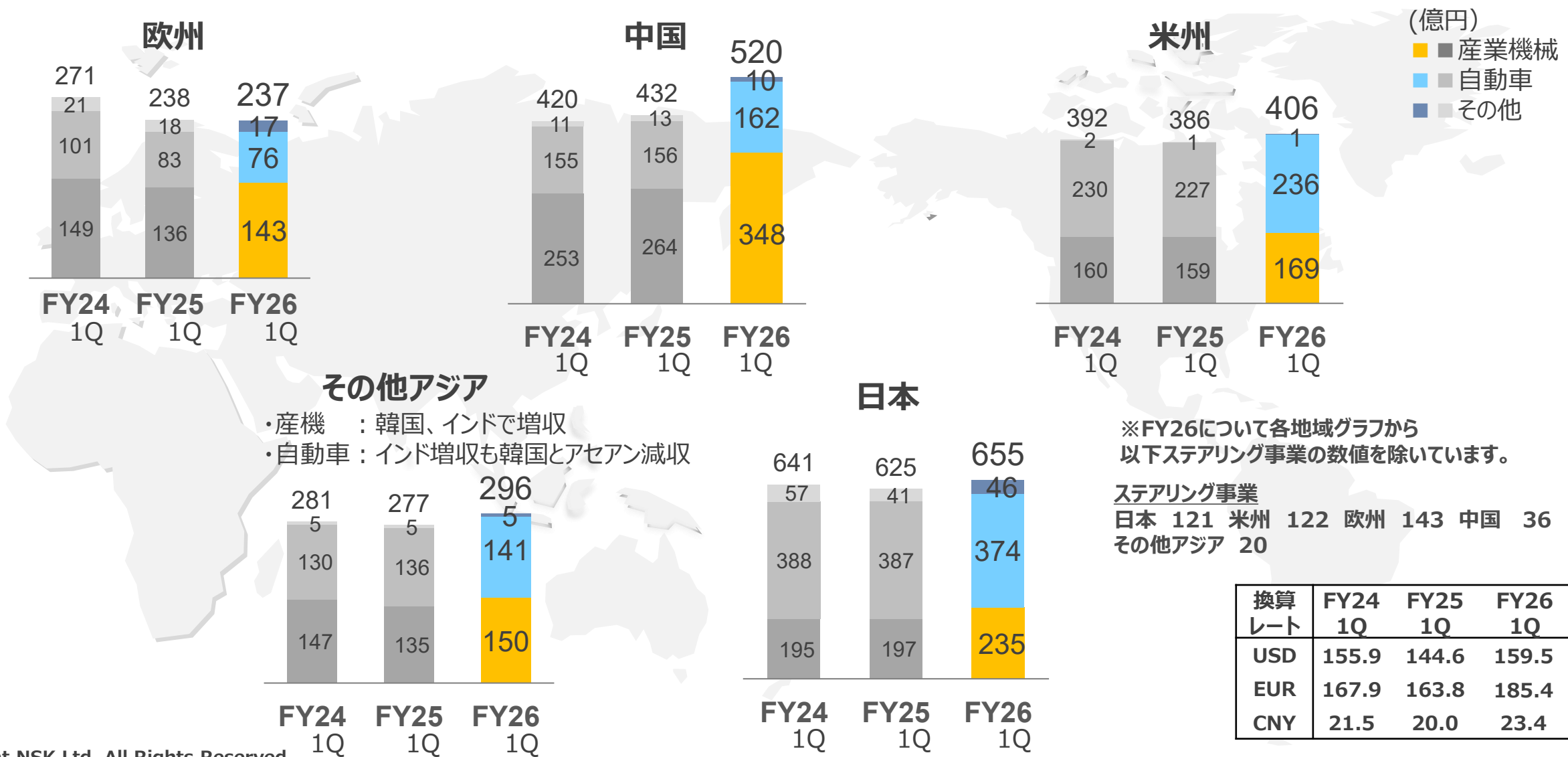
FY26 1Q実績 –顧客地域別売上高（ステアリング事業除く）–

欧州：自動車、産機ともに販売低迷。

米州：為替および関税還付影響を除いて横ばい。

中国：工作機械向け等を中心に大幅な増収。

日本：自動車は減収も半導体製造装置向け等が牽引し増収。



2027年3月期 通期予想

	5月 予想前提	1Q時点
為替 レート	✓ USD 150円、EUR 180円、CNY 21円	✓ 前提の為替レートに対し円安で推移。 ✓ 2Q以降、以下の為替レートを反映 USD 155円、EUR 180円、CNY 22.5円
事業環境	✓ 産業機械 ：半導体、工作機械向けの好調継続。 アフターマーケットは緩やかな回復前提。 ✓ 自動車 ：サプライチェーンリスクはあるが生産台数は FY25並を前提。	✓ 産業機械：AI市場拡大を背景に需要は好調を継続。 ✓ 自動車 ：生産台数は当初想定を据え置き。
中東情勢	✓ 1Hは約40億円の減収影響を織り込み。 ✓ 2Q以降のコストへの影響は約20億円を見込む → 売価転嫁を前提	✓ 販売への影響は想定線（40億円） ✓ コスト影響は想定より拡大（20億円→30億円） → 当期中の売価転嫁前提を継続。
米国関税 政策	✓ 関税政策によるコスト増減に対しては売価への 反映方針を継続。	✓ 関税政策によるコスト増減の売価反映方針を継続。 ✓ 7月24日発動の関税影響は軽微。
構造改革	✓ 欧州、日本を中心としたグローバル再編。 - 欧州：[英国]ピータリー地区・ニューアーク地区生産撤退 [ポーランド]キルチェ工場縮小。 - 日本：生産拠点再編と販売体制の見直し推進。	✓ 計画に沿って取り組みを推進中。 - 費用：1H 28億円、2H 67億円、通期 95億円(+5億円) - 効果：1H 15億円、2H 15億円、通期 30億円
統合費用		✓ NTN株式会社との統合に関する費用50億円計上。

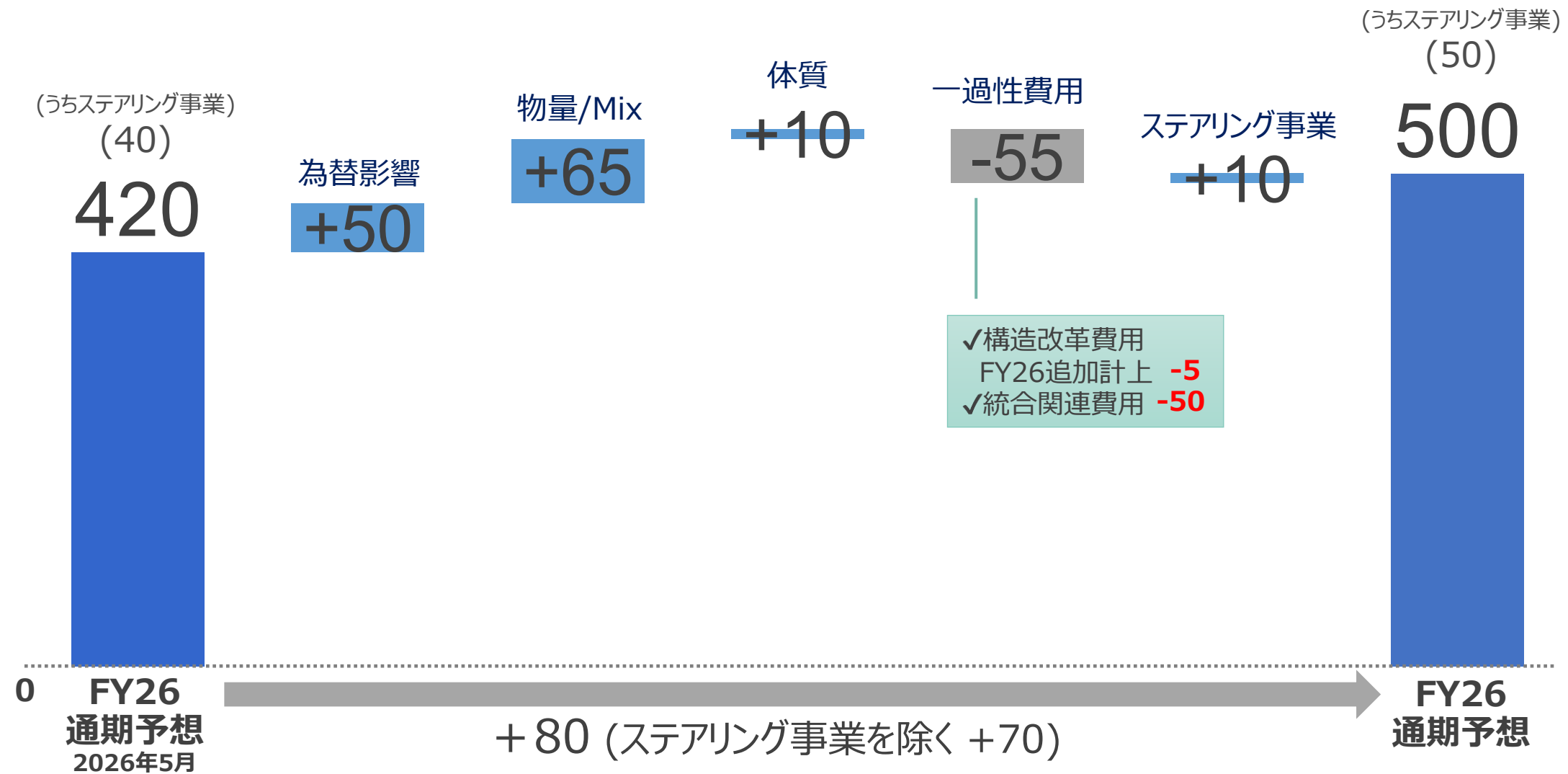
- ✓ FY26 1Q実績と受注動向、足元の為替水準等を鑑み、2026年5月公表のFY26業績予想を上方修正。
なお、NTN株式会社との経営統合に関する費用（50億円）を業績予想に織り込み。
- ✓ 2Q以降の為替レート前提：USD 155円、EUR 180円、CNY 22.5円

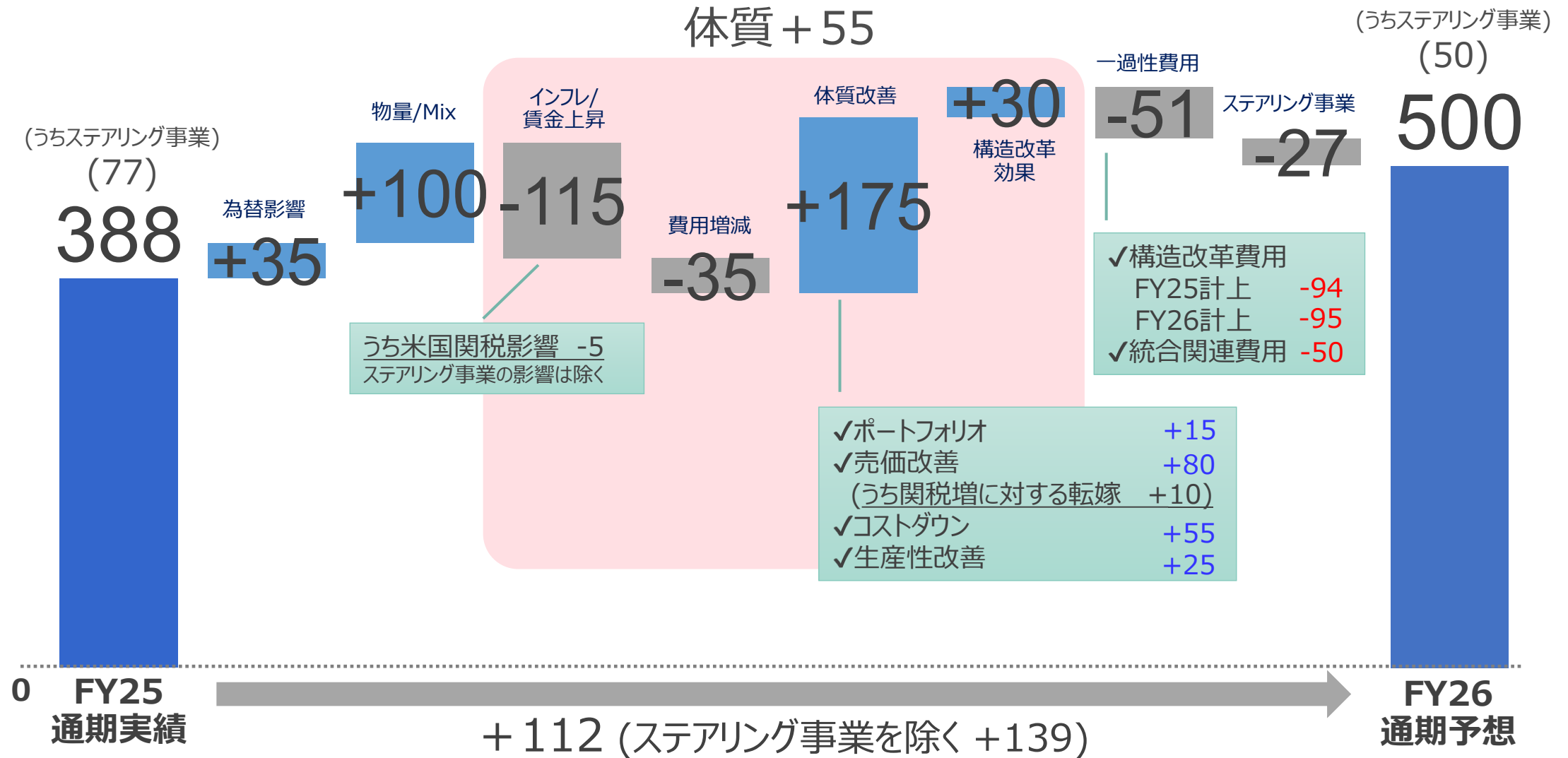
(億円)	FY26通期		YoY		FY25通期 実績	YoY		
	2026年5月 予想	修正予想	増減額 (為替影響)	伸び率		増減額 (為替影響)	うち、 ステアリング事業	伸び率
売上高	10,000	10,400	+400 (+250)	+4.0%	9,116	+1,284 (+250)	(+784)	+14.1%
営業利益 (率)	420 (4.2%)	500 (4.8%)	+80 (+50)	+19.0%	388 (4.3%)	+112 (+35)	(-27)	+28.8%
一過性除く ※ (率)	532 (5.3%)	650 (6.3%)	+118 (+35)	+22.2%	452 (5.0%)	+198 (+35)		+43.9%
税引前利益	400	480	+80	+20.0%	380	+100		+26.2%
当期利益 (親会社所有者帰属)	240	290	+50	+20.8%	229	+61		+26.8%
換算レート1USD	150.0	156.1	+6.1	+4.1%	150.8	+5.3		+3.5%
〃 1EUR	180.0	181.4	+1.3	+0.7%	174.8	+6.6		+3.8%
〃 1CNY	21.0	22.7	+1.7	+8.2%	21.3	+1.5		+7.0%

※ 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益（FY25実績）を除いた利益を表示しています。



営業利益 増減内訳 FY26 通期予想 (2026年5月予想) ⇒ FY26 通期予想





産業機械事業

(億円)	FY26予想				FY26	
	2026年5月	修正予想	増減額	増減率	1H予想	2H予想
売上高	4,000	4,250	+250	+6.3%	2,100	2,150
産業機械軸受	3,350	3,510	+160	+4.8%	1,735	1,775
精機製品	650	740	+90	+13.8%	365	375
営業利益	220	325	+105	+47.7%	160	165
(率)	(5.5%)	(7.6%)			(7.6%)	(7.7%)
一過性除く	290	395	+105	+36.2%	180	215
(率)	(7.3%)	(9.3%)			(8.6%)	(10.0%)

主なセクター別需要動向 (NSK予測)

		↑ : 5月予想から変更	FY26 1H Vs FY25 2H	FY26 2H vs FY26 1H
E&E	アフターマーケット(AM)		→	→
	家電		→	→
	自動車		→	→
OEM	ロボット		↑	↑
	風力		↓	→
	鉄道		→	→
	工作機械		↑ ↑ ↑	→
	半導体製造装置		↑ ↑ ↑	↑

・半導体製造装置向けの旺盛な需要に加え、工作機械向けの需要が想定以上に増加。構造改革費用は70億円を計画。

自動車事業

(億円)	FY26予想				FY26	
	2026年5月	修正予想	増減額	増減率	1H予想	2H予想
売上高	4,000	4,050	+50	+1.3%	2,000	2,050
営業利益	180	180	-	-	85	95
(率)	(4.5%)	(4.4%)			(4.3%)	(4.6%)
一過性除く	200	205	+5	+2.5%	93	112
(率)	(5.0%)	(5.1%)			(4.7%)	(5.5%)

グローバル自動車生産台数 (百万台, NSK予測)

FY26
2026年5月予想
91
1 H 2H
45 46



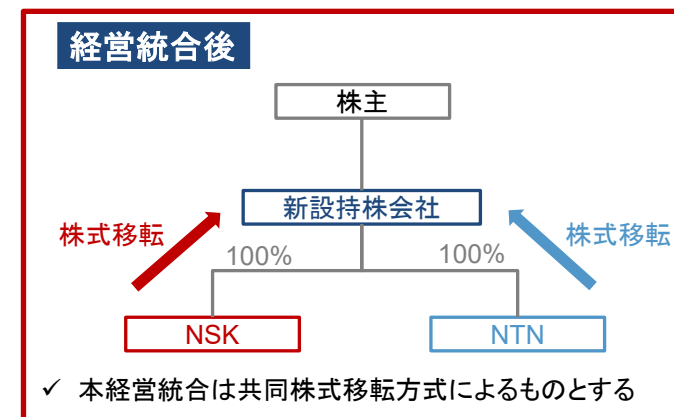
FY26
91
1 H 2H
45 46

・構造改革とコスト改善を計画どおり推進し、一過性を除く営業利益率で5%を目指す。

中長期的な企業価値向上への取り組み

✓ NTN株式会社との経営統合

- 基本合意書（2026年5月12日締結）に基づきデューデリジェンスを実施中。基本合意締結後6か月を目途に最終契約締結の予定。
- 2027年6月の定時株主総会（株式移転の承認決議）を経て、2027年10月に共同持株会社の設立を目指す。



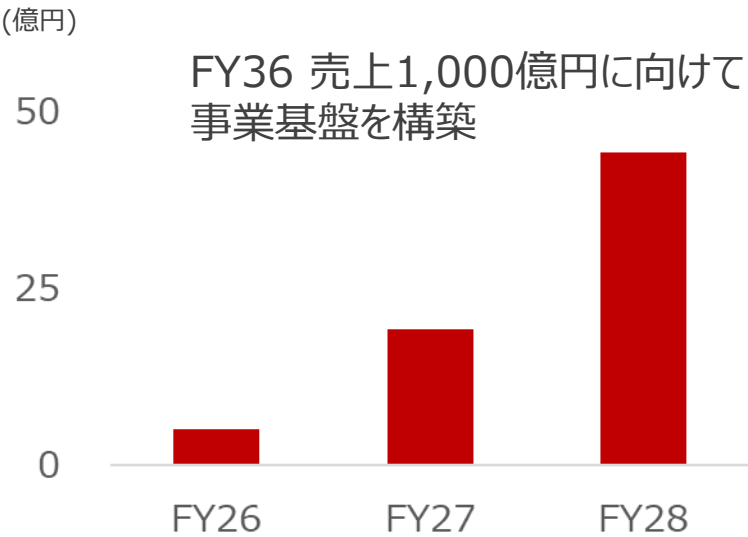
✓ NSKビジョン2036の実現に向け、中期経営計画2028をスタート

- 2027年3月期通期予想に対して順調に進捗。
- 構造改革は計画どおりに進捗。

✓ ポートフォリオ変革の取り組み

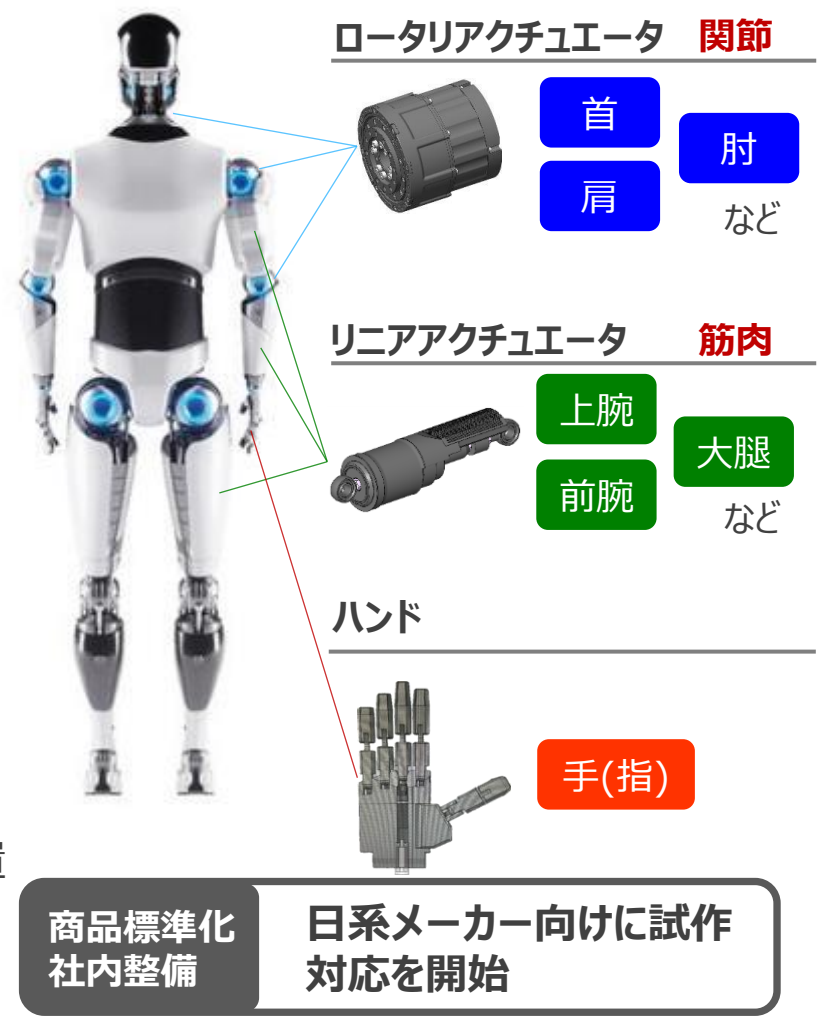
- ロボティクス事業：新設（2026年3月）したロボット事業部にて新たな収益の柱へと取り組みを本格化。
- 重点領域である電動車向け製品（電動ブレーキ用ボールねじ等）の拡販を推進。
- 新領域であるCMSの拡大に向け、社内での実装や社外での実証実験など取り組みを加速。

MTP2028
ロボティクス事業 売上高イメージ



- ✓ **ヒューマノイド向けアクチュエータ**
ロボットの中核部品であるアクチュエータの開発
- ✓ **ヘルスケア・サービス**
医療スタッフの負担を軽減する搬送アシスト装置
- ✓ **産業への展開**
ロボットの信頼性、安全性向上に貢献
国産4足歩行ロボットの開発・実用化

ヒューマノイド（アクチュエータ）



ヘルスケア・サービス

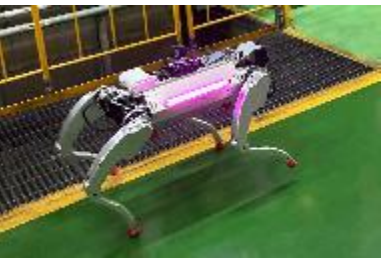


ストレッチャー搬送アシスト装置（MOOVO™）

運用 評価中

臨床での長期トライアルを開始

産業への展開



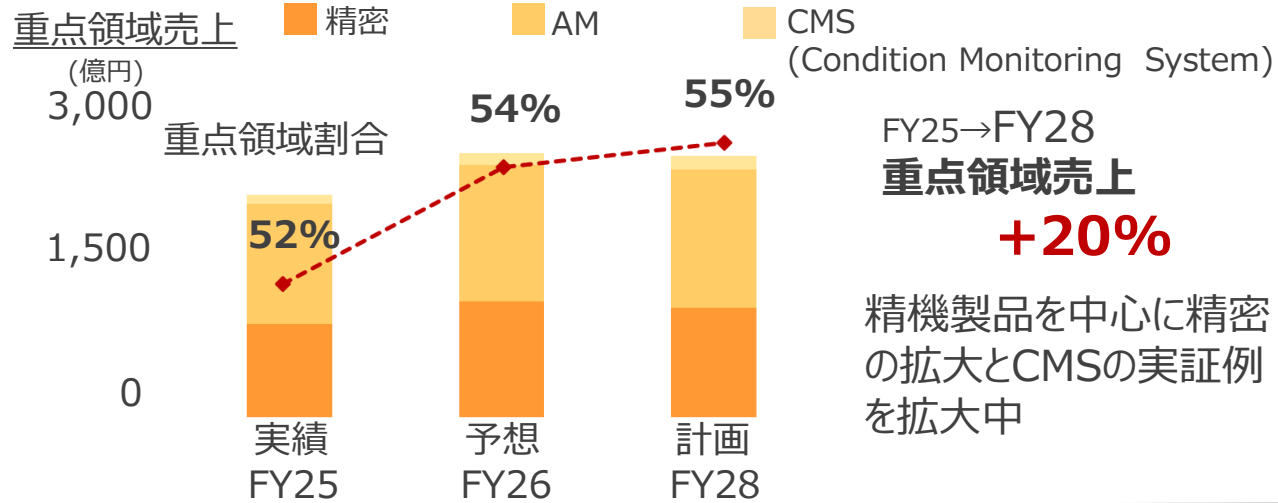
アールティ社製の
四足歩行ロボットを用いた設備点検

実証 実験

藤沢工場にて実証実験・データ収集を開始

高収益化としての重点領域を拡大

産業機械事業



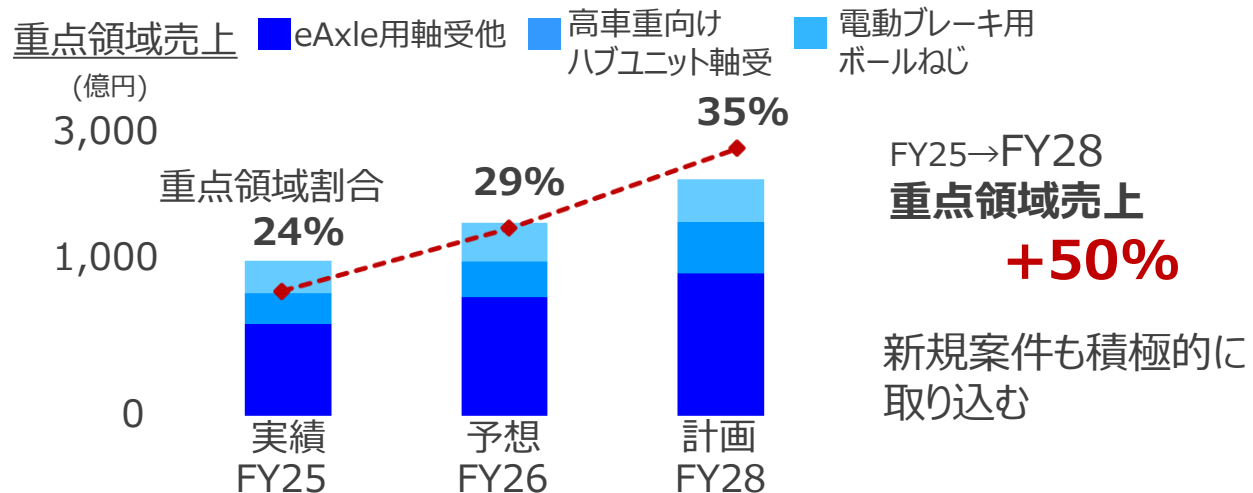
将来の成長エンジンとしてのBeyond領域を拡大

- ✓ コスモエコパワー株式会社と風力発電設備向け軸受の潤滑状態の監視技術を実機環境で実証
⇒潤滑状態の検知が可能に。

設備寿命の長期化に向け、
従来よりも早く保全対応の
検討が可能に。



自動車事業



- ✓ FY27以降での需要増加に対応すべく、北米・中国の各地域で生産能力を増強
(高車重向けハブユニット、電動ブレーキ用ボールねじ)

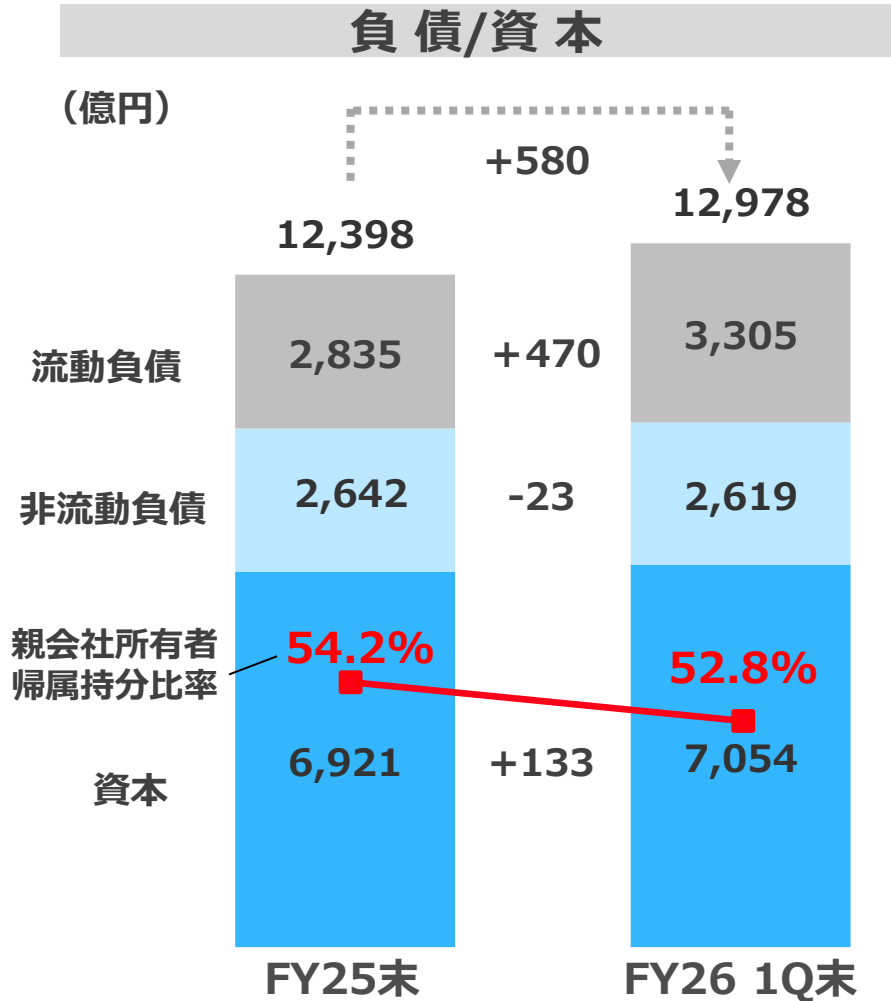
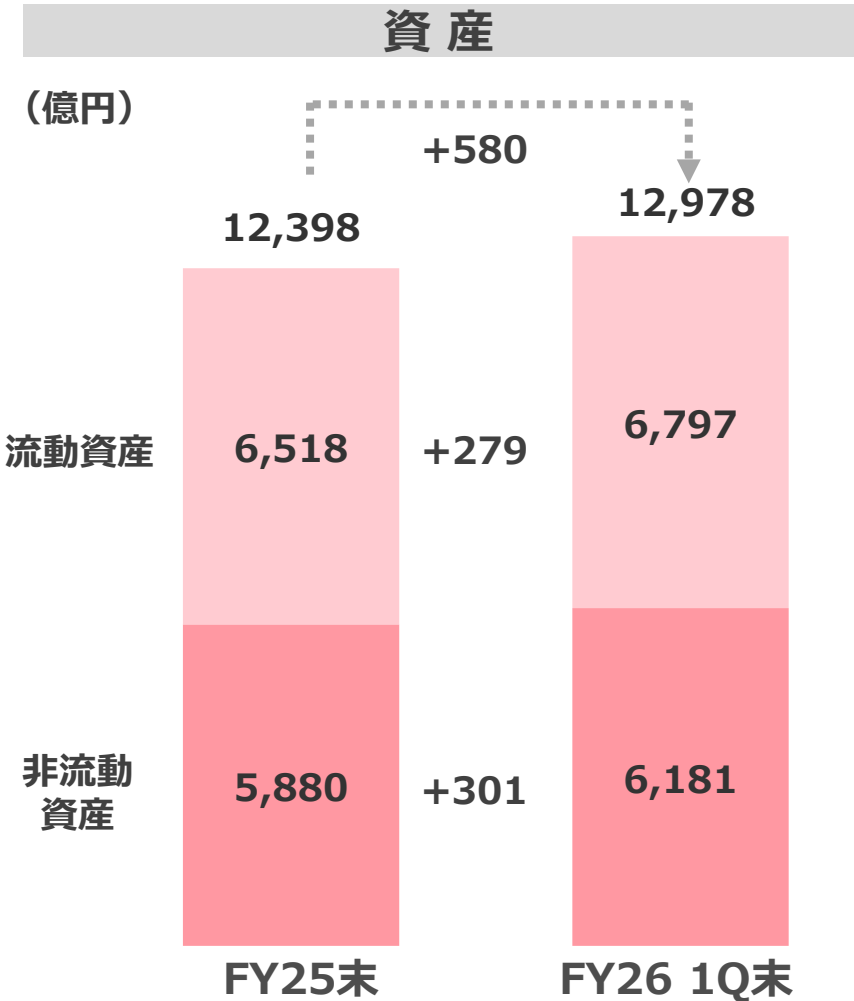


補足資料

		FY25実績					FY26実績	1Q YoY		FY26予想		
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	増減額	伸び率	1H	2H	通期
合計	売上高	1,958	2,165	2,462	2,532	9,116	2,556	+599	+30.6%	5,140	5,260	10,400
	営業利益	48	129	112	99	388	150	+102	+212.3%	260	240	500
	(営業利益率)	(2.4%)	(6.0%)	(4.6%)	(3.9%)	(4.3%)	(5.9%)			(5.1%)	(4.6%)	(4.8%)
除くステアリング	売上高	1,958	2,013	2,037	2,104	8,111	2,114	+156	+8.0%	4,250	4,360	8,610
	営業利益	45	89	87	89	311	134	+89	+194.9%	235	215	450
	(営業利益率)	(2.3%)	(4.4%)	(4.3%)	(4.2%)	(3.8%)	(6.3%)			(5.5%)	(4.9%)	(5.2%)
産業機械事業	売上高	892	916	946	1,021	3,775	1,045	+154	+17.2%	2,100	2,150	4,250
	産業機械軸受	759	774	804	862	3,198	867	+109	+14.3%	1,735	1,775	3,510
	精機製品	133	142	142	160	577	178	+45	+34.0%	365	375	740
	営業利益	16	33	38	39	126	81	+65	+408.7%	160	165	325
	(営業利益率)	(1.8%)	(3.6%)	(4.0%)	(3.8%)	(3.3%)	(7.8%)			(7.6%)	(7.7%)	(7.6%)
自動車事業	売上高	989	1,024	1,014	1,007	4,033	989	-0	-0.0%	2,000	2,050	4,050
	営業利益	33	55	38	47	174	46	+13	+37.7%	85	95	180
	(営業利益率)	(3.4%)	(5.4%)	(3.8%)	(4.6%)	(4.3%)	(4.6%)			(4.3%)	(4.6%)	(4.4%)
その他	売上高	151	131	134	134	549	135	-16	-10.5%	270	280	550
	営業利益	3	-1	0	2	5	3	-0	-7.3%	0	0	0
	(営業利益率)	(2.3%)	(-0.6%)	(0.0%)	(1.6%)	(0.9%)	(2.4%)			(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
売上高消去		-73	-58	-57	-58	-246	-55	+18	-	-120	-120	-240
その他の営業損益/調整額		-7	2	11	1	7	4	+11	-	-10	-45	-55
ステアリング事業	売上高	-	152	426	428	1,006	443	+443	-	890	900	1,790
	営業利益	3	40	25	10	77	16	+13	+527.9%	25	25	50
	(営業利益率)	-	(26.4%)	(5.8%)	(2.3%)	(7.7%)	(3.5%)			(2.8%)	(2.8%)	(2.8%)

(億円)	FY25実績					FY26実績	1Q YoY	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	増減額	増減率
売上高	1,958	2,165	2,462	2,532	9,116	2,556	+599	+30.6%
日本	625	689	777	779	2,869	777	+152	+24.3%
海外合計	1,333	1,476	1,685	1,753	6,247	1,780	+447	+33.5%
(海外比率)	(68.1%)	(68.2%)	(68.4%)	(69.2%)	(68.5%)	(69.6%)		
米州	386	428	475	543	1,831	527	+141	+36.6%
欧州	238	275	359	395	1,267	379	+141	+59.4%
中国	432	477	547	488	1,945	557	+124	+28.8%
その他アジア	277	296	305	326	1,204	316	+40	+14.3%
換算レート								
1USD	144.6	147.5	154.2	156.9	150.8	159.5	+14.9	+10.3%
1EUR	163.8	172.3	179.4	183.6	174.8	185.4	+21.6	+13.2%
1CNY	20.0	20.6	21.7	22.7	21.3	23.4	+3.4	+17.2%

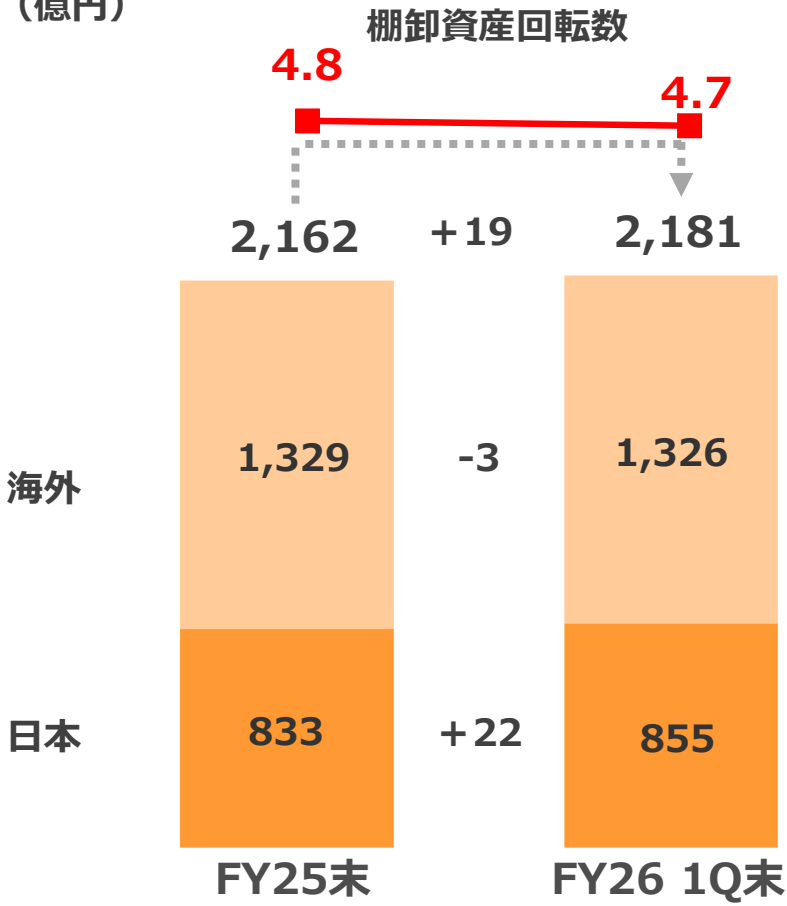
換算レート	FY25末	FY26 1Q末
1USD	159.9	162.5
1EUR	183.4	185.4
1CNY	23.1	23.9



換算レート	FY25末	FY26 1Q末
1USD	159.9	162.5
1EUR	183.4	185.4
1CNY	23.1	23.9

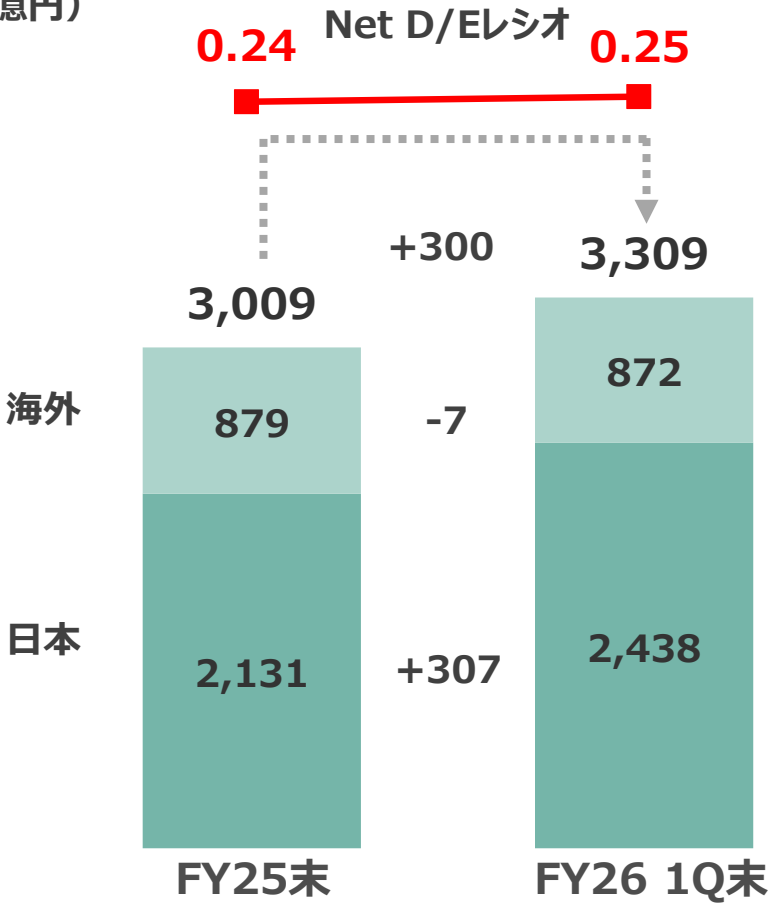
棚 卸 資 産

(億円)



有 利 子 負 債

(億円)



(億円)	FY25 通期実績	FY26 1Q実績	FY26 通期予想
設備投資額	519	94	600
設備投資額 (リース除く)	472	88	550
減価償却費	551	157	630
減価償却費 (リース除く)	504	144	580
技術関連費用	342	96	400
研究開発費 (制度決算ベース)	172	44	190